



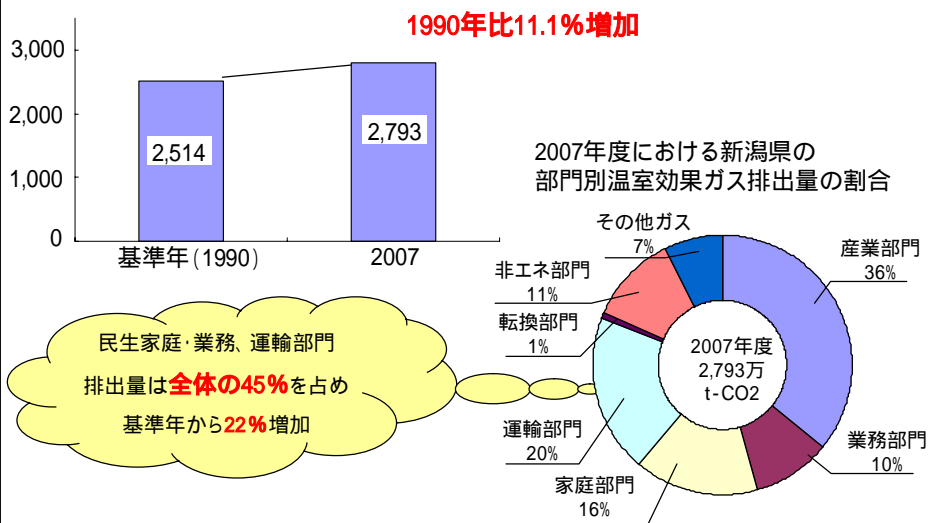
新潟県カーボン・オフセット制度の概要

平成22年2月18日
新潟県県民生活・環境部環境企画課

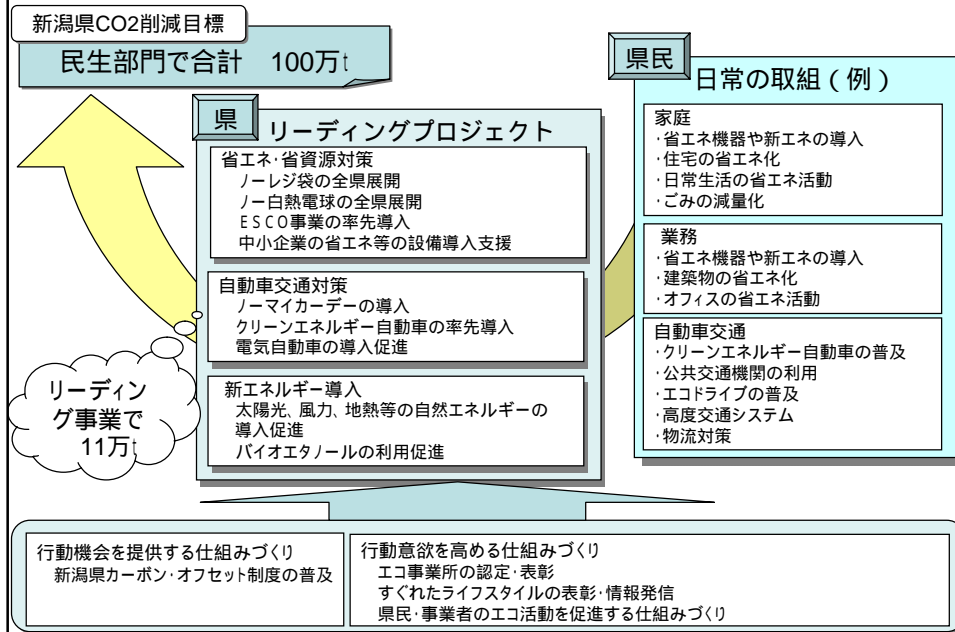
県内の温室効果ガスの排出状況



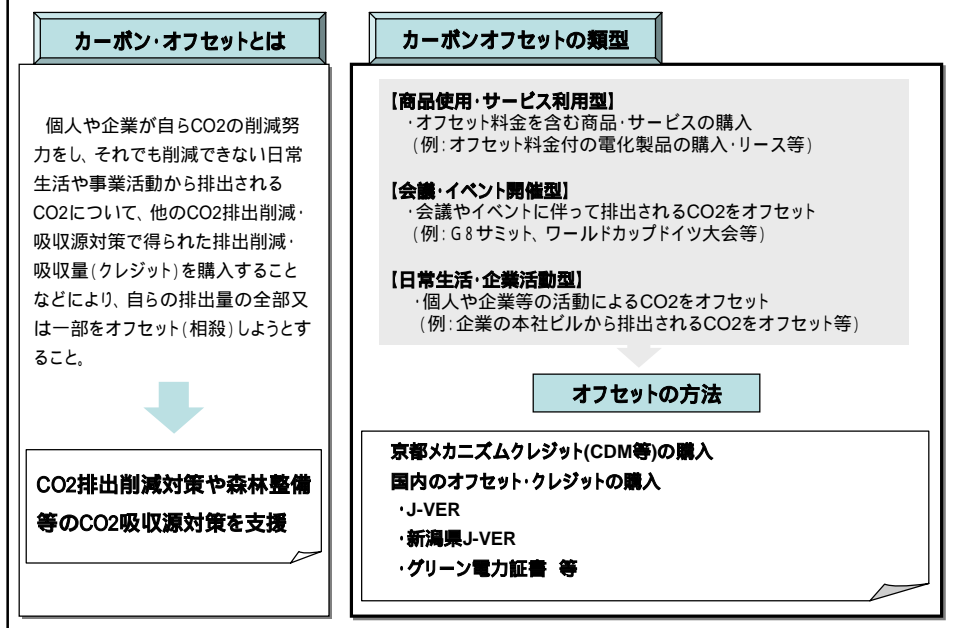
新潟県の2007年度温室効果ガスの排出量(万t-CO₂)



新潟県 温暖化防止施策の体系



カーボン・オフセットについて



カーボン・オフセットの事例



商品使用・サービス利用型

有料レジ袋

- ・佐渡市内のスーパー、ホームセンター
(パワーズフジミ、ホームセンタームサシ、
コメリ、ひらせい、JAエーコープ佐渡)

等



佐渡市内のスーパーでの取組

印刷物

- ・冊子((株)第一印刷所)
- ・カーボン・オフセット付き年賀はがき
(郵便事業(株))

等



カーボン・オフセット付き冊子



カーボン・オフセット付き
年賀はがき

カーボン・オフセットの事例



旅行

- ・佐渡島内の定期観光バス(新潟交通佐渡(株))
- ・佐渡島内貸し切りタクシー((社)佐渡観光協会)
- ・CO2ゼロ旅行(JTB関東)
- ・新潟 - グアム航空便(コンチネンタル航空)
- ・国内線全便でカーボン・オフセットプログラム
を導入(ANA)

等



写真提供:コンチネンタル航空

その他

飲食物、衣料品、家電品、事務用品、自動車、金融商品 等

カーボン・オフセットの事例



会議・イベント開催型

- ・佐渡市アースセレブレーション
- ・第1回トキ放鳥式
- ・洞爺湖G8サミット
- ・FIFAワールドカップ2006(ドイツ) 等



洞爺湖G8サミット

日常生活・企業活動型


- ・自社ビルの排出量(三菱UFJ信託銀行等)
- ・コンビニの端末機で小口販売(ローソン) 等



新潟県カーボン・オフセット制度のこれまでの経緯



制度

- 2008年度 新潟県カーボン・オフセットモデル事業実施
- 2009年 5月 新潟県カーボン・オフセット制度の運用開始
- 11月 新潟県カーボン・オフセットシンボルマークを県民投票により決定 
- 12月21日 オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく「都道府県J-VERプログラム認証」の申請
- 2010年 1月18日 国のプログラム認証を取得

プロジェクト手続き

- 2009年 6月 (社)新潟県農林公社の「トキの森」整備事業の申請受理
- 8月 「トキの森」整備事業をプロジェクトとして登録
- 9月～10月 モニタリング実施
- 11月～12月 (財)日本品質保証機構が検証
- 12月24日 県認証審査委員会

「新潟県J-VER(トキの森クレジット)」を発行

新潟県カーボン・オフセット制度のねらい



制度のねらい

2007年度の県内の温室効果ガス排出量は、2,793万t-CO₂で
基準年(1990年度)比11.1%増加
県内の森林面積は、およそ86万ha(県土の69%)

「新潟県カーボン・オフセット制度」を構築し、普及

県内事業者、県民に地球温暖化防止行動の取組機会を提供
県内外のカーボンオフセット資金による県内の森林整備の促進
トキの生息環境整備を始めとした森林生態系の保全を支援
水源のかん養、洪水・山崩れなどの災害防止など県土の保全

新潟県カーボン・オフセット制度の特徴



制度の特徴

県が森林整備プロジェクトによるCO₂吸収量(新潟県J-VER)を認証
県制度の各種基準やガイドライン等は、基本的に国の制度と同様
国のプログラム認証を取得し、J-VER登録簿に「新潟県J-VER」を登録・発行
プロジェクト申請から新潟県J-VER発行までの手続きが県内で完結

**確実性・永続性が確保されたプロジェクトの創出
透明性・精度が高いクレジットの創出**

都道府県J-VER プログラム認証



オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則(環境省)

都道府県J-VERプログラム認証

- 温室効果ガスの削減・吸収量をクレジットとして認証・発行する都道府県の制度について、オフセット・クレジット(J-VER)制度に整合していると認められるものをJ-VER認証運営委員会が認証し、「都道府県J-VERプログラム」としてプログラム認証リストに掲載
- 都道府県J-VERプログラムより発行されるクレジットは、J-VER認証運営委員会により認証・発行されるオフセット・クレジット(J-VER)と同列にJ-VER登録簿に登録



平成22年1月18日
新潟県オフセット・クレジット制度が国のプログラム認証を取得(全国初)



プロジェクト申請から新潟県J-VER発行までの手続きが県内で完結
県内の森林整備事業者のプロジェクト事業への参加促進
県が認証した「新潟県J-VER」を国のJ-VER登録簿に登録
全国の企業が利用

新潟県カーボン・オフセット制度の基本事項



対象とするプロジェクト

2007年4月から2012年3月までの間に森林施業計画に基づき実施される間伐事業
(オフセット・クレジット(J-VER)制度におけるポジティブリストの「間伐促進型プロジェクト」)

適用する基準、ガイドライン等

国のオフセット・クレジット(J-VER)制度のガイドライン等を適用

オフセット・クレジット(J-VER)モニタリング方法ガイドライン(森林管理プロジェクト用)	森林管理プロジェクトを実施しようとするプロジェクト事業者が、吸収増大量をモニタリング、算定、報告するための手引書
オフセット・クレジット(J-VER)モニタリング報告書の検証のためのガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度において、検証機関及び検証人が実施すべき事項
オフセット・クレジット(J-VER)の排出削減・吸収量の算定及びモニタリングに関する方法論(森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論)	間伐促進型プロジェクトを対象とした、CO2吸収量の算定方法及びモニタリング方法

認証審査委員会

外部の学識者等6名で構成
「プロジェクトの登録の可否」及び「吸収量の適合性」等を審査

プロジェクト申請にあたっての対象地の条件



間伐促進型プロジェクト

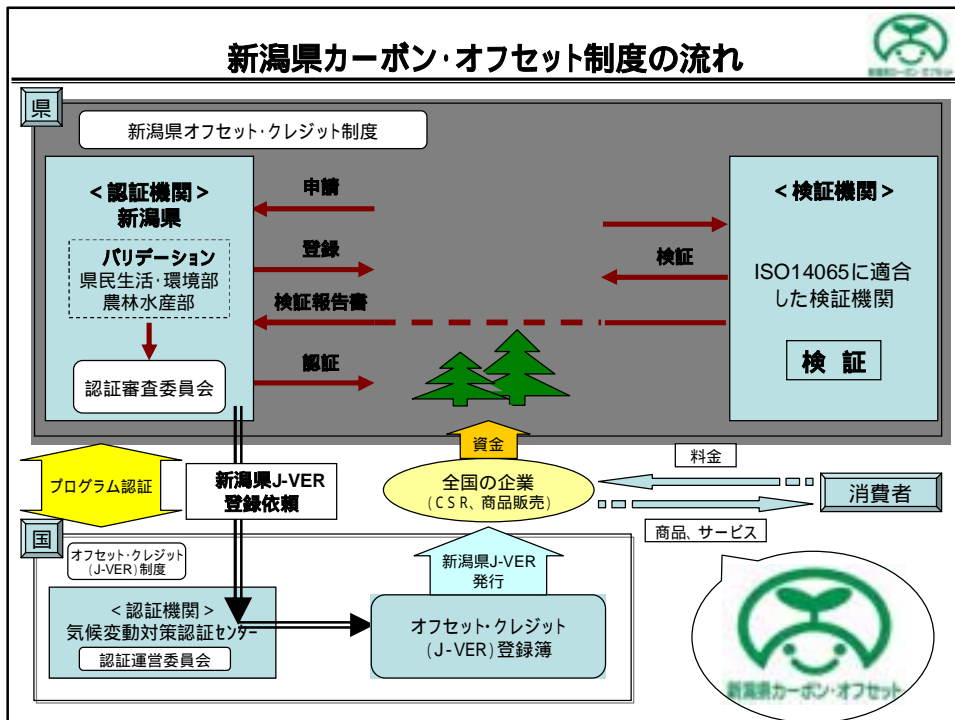
プロジェクト対象地が森林施業計画の認定を受け、計画に基づき施業が実施されていること

関連法令等に基づく、届出・許可等が適切に行われていること(伐採届など)

期間終了後10年間、対象地で転用や主伐が行われないこと

(森林施業計画の中から間伐対象地を抽出した場合は、同一施業計画内の他の森林でも転用が行われず、主伐する場合は適切な更新がなされること)

新潟県カーボン・オフセット制度の流れ



プロジェクト申請から新潟県J-VER発行までの流れ



申請

プロジェクト事業者は、申請書を県に提出

- プロジェクト活動の概要
プロジェクト実施場所、期間、想定吸収量、クレジット発生期間 等
- 方法論の適用
プロジェクト対象森林の適格性基準の適合状況、吸収量の算定方法 等
- その他
関連する許認可及び関連法令の適用状況 等
- モニタリングプラン
モニタリングガイドラインに沿ったモニタリングの計画(間伐後の現地調査計画)

バリデーション(登録審査) 登録

県は、バリデーションチームを編成し、申請書について、書類審査

- プロジェクト対象森林の適格性基準等との整合性
- 吸収量の計算方法、モニタリング方法等のガイドライン等との適合性

認証審査委員会は、県の審査結果に基づき、プロジェクトの登録の可否を審査

県は、認証審査委員会の審査結果を踏まえ、プロジェクトを登録(WEBで公開)

モニタリング モニタリング報告

プロジェクト事業者は、間伐実施後にモニタリングプランに沿ってモニタリングを実施
(主な調査項目:間伐面積、胸高直径、樹高等の測定)

プロジェクト事業者は、モニタリング結果をまとめた報告書を作成し、ISO14065に適合する第三者の検証機関に提出

プロジェクト申請から新潟県J-VER発行までの流れ



検証 検証報告書

検証機関は、提出されたモニタリング報告書に基づき、モニタリングプランに沿ったモニタリングが実施されているか書類検査と現地検証を実施

検証機関は、検証報告書を作成し、プロジェクト事業者及び県に提出

認証

認証審査委員会は、検証機関から提出された検証報告書及びモニタリング報告書に基づき、プロジェクトから生じる吸収量の適合性について審査

県は、認証審査委員会の審査結果を踏まえ、プロジェクトから生じる吸収量を認証(WEBで公開)

新潟県J-VER登録依頼

県は、認証された吸収量について、気候変動対策認証センターに対して、オフセット・クレジット(J-VER)登録簿への登録を依頼

気候変動対策認証センターは、県からの依頼に基づき、オフセット・クレジット(J-VER)登録簿に新潟県J-VERとして登録

「新潟県J-VER」発行

プロジェクト申請等に要する経費とCO2吸収量



経費

- 1 審査登録費用(バリデーション費用)
新潟県J-VERの場合は無料
- 2 検証費用
- 3 オフセット・クレジット(J-VER)登録簿にかかる費用
当面の間、無料(口座開設手数料、移転証明書発行手数料等)
- 4 その他
申請書類作成、モニタリング(現地調査)にかかる事務的経費

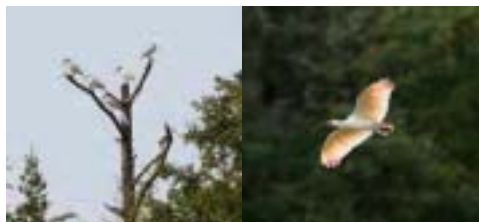
CO2吸収量(クレジット発生量)

(樹種と面積、地位、林齢による)
Ex: スギ、1ha、地位3、25年生の場合 年間12.7tのCO2を吸収
40年生の場合 年間 9.5tのCO2を吸収

新潟県J-VER第1号「トキの森クレジット」の発行

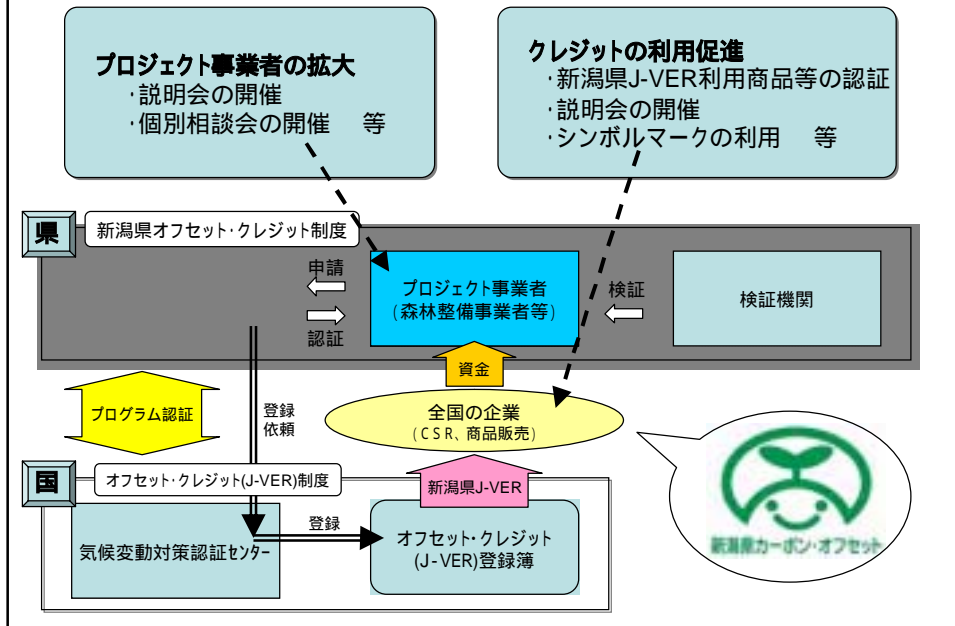


プロジェクト代表事業者	社団法人新潟県農林公社
プロジェクト名	新潟県佐渡市「トキの森」整備事業
プロジェクト実施場所	佐渡市 新穂、佐和田、金井、畑野、真野 地区など
対象森林面積	約151ha
CO2吸収量(見込み)	6,377t-CO2 (5年間平均 1,275t-CO2)



(写真提供: 環境省)

新潟県カーボン・オフセット制度の普及拡大に向けた取組



新潟県カーボン・オフセットシンボルマークの使用について



- ・シンボルマークは、「新潟県J-VER」を利用し、オフセット商品を販売したり、サービス等を提供する場合、その商品のラベルや宣伝のポスターなどに使用できます
- ・シンボルマークを使用する際は県に申請してください
- ・県では、シンボルマークを使用したオフセット商品やサービス等を積極的にPRします

詳しくは県環境企画課へお問い合わせください